

かたな おかもと なおがね みなもとくによしぞう
 刀・岡本直金源圀良造

●所在地／三島町 ●所有者／個人

銘 表 岡本直金源圀良造

裏 弘化三年仲春（1846）

刃長 68.5cm

反り 1.85cm

姿 ^{かさ}重ね厚く ^{しにえ}身幅広く ^{もとさきはばさ}元先幅差少なく ^{おおきっさき}大切先延びた豪壮な刀姿

地金 ^{いため}板目細かく ^{じにえ}地沸つき無地風 ^{おおはだ}大肌交る ^{しのぎじ まさ}鎗地は柂

刃文 ^{すぐはちよう やき}直刃調に焼出し ^{ぐ めにえで き}五の目沸出来 焼幅広く沈みごころ

^{ぼうし}鉈子掃き掛ける

中心 ^{おおすじかい}化粧やすり ^{なかごじり}大筋違 中心尻は刃上り栗尻 ^{くりじり}目釘穴2個

時代 江戸末期

^{おおず}大洲藩の刀鍛冶岡本隆国の嫡子。江戸水心子正秀の門に入る。直金圀良の傑作である。

